日本大学通信教育部 平成二十四年度新年会

今年の新年会も市ヶ谷の校友会館（桜門会館）の桜ホールで平成25年1月26日（土）午後3時より式次第に沿って開催された。

平成24年度新年会式次第

司会　岩尾健太郎・北村周之

一、開会の辞　副会長　山崎孝明
二、校歌斉唱　応援団OB
三、会長挨拶　白戸忠志
四、ご来賓祝辞
日本大学理事長・日本大学校友会長　田中　英壽様
通信教育部次長　関根二三夫様
五、乾杯のご発声　副幹事長　三上英子
六、懇談
七、御客様の紹介　幹事長　鈴木　勝
八、通信教育部教職員　紹介　庶務課長三橋満様
九、校友会役員　紹介　副会長　肱岡堅一
十、学友会役員及び学友自己紹介
十一、日大節　応援団OB
十二、中締め　副会長　館　聖
十三、閉会の辞　副会長　金子英輔

ご卒業おめでとう

平成25年3月25日（日）に東京・九段の日本武道館にて午前の部と午後の部との2回に分け、大学院、14学部、通信教育部、短期大学部の卒業生が出席して盛大かつ厳粛に挙行されました。

法学部法律学科	53名
法学部政治経済学科	31名
文理学部文学専攻（国文学）	21名
（英文学）	89名
文理学部哲学専攻	16名
文理学部史学専攻	26名
経済学部経済学科	40名
商学部商業学科	74名
計	350名

総長賞

文理学部史学専攻	高津　朋子

優秀賞

法学部法律学科	渡邊　泉
法学部政治経済学科	丸山　杏菜
文理学部文学専攻（国文学）	平岡　美保
（英文学）	沼田　聖代
文理学部哲学専攻	栗田山美子
文理学部史学専攻	高津　朋子
経済学部経済学科	猪飼　敏之
商学部商業学科	長嶺　将伊

部長賞

法学部政治経済学科	渡辺　利男
文理学部史学専攻	荒井　佳子
経済学部経済学科	岩瀬　満久
商学部商業学科	伊藤　俊輔

精励賞

法学部法律学科	天神　部男 関　修 山田　輝行
文理学部文学専攻（国文学）	長岡　恵子 長嶋　啓介
文理学部哲学専攻	豊田　昇治
文理学部史学専攻	浅野　悦子 亀田　力

校友会長賞

法学部政治経済学科	岡　義秀 根本　清司 関根真裕子
文理学部史学専攻	廣岡　知絵
経済学部経済学科	野澤由紀子
商学部商業学科	米川　正人

中国ブロック総会のお知らせ

期日　平成25年8月24日（土）～25日（日）
場所　松江市白鳥会館
日本大学島根桜信会一同

出雲は出雲大社を生んだ日本民族の故郷。
石見はスカイツリーを生んだ澄川喜一氏の故郷。

（島根県支部）

支部だより

青森県支部総会

平成24年11月15日（木）、むつ市のはねやホテルに於いて17時より開催しました。

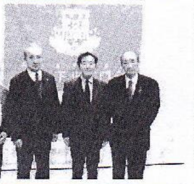
支部長より第41回定期総会（東京都）及び東北ブロック会（岩手県）等について報告があり、その後、議事に入りました。

議事
○平成23年度事業報告
○平成23年度決算報告
○平成24年度事業計画
○平成24年度予算案
その他
●会員の高齢化
●年会費の納入者の減少
●県支部総会の参加者が減少

○印については、承認されました。●印については、今後の課題として検討していく事にしました。

総会終了後、記念写真撮影を行い懇親会が始められ、午後19時再会を約束して散会しました。

（文責　支部長　奥野賢一）



長野県支部総会

平成25年3月16日長野県支部総会をホテル信濃路にて開催しました。

吉川貢支部長の挨拶の後、協議に入りました。

来年26年に北信越ブロック大会が当支部にて開催予定ですので、県内の会員が多く参加できる様に、9月上山田温泉にて開催を決定しました。

前年度活動報告・決算報告承認のち、各自、自己研鑽、近況報告をいただきました。

200数名の会員により周知させて行こうと申し合せて支部総会を終了しました。

（文責　名古　悟）

広島県支部総会

日大通教部校友会広島県支部　平成24年4月30日

新緑の萌える4月29日（日）、我々校友会を祝福するかの様に晴れ渡った最高の日に県総会を開催しました。

いつもの事ながら、再会を期待する喜びを胸に晴れがましい笑顔が集う、そして、歓談が弾む。来て良かったと誰もが思う。毎年の光景であります。

今年は、41回目を迎えました。多くの先輩が営々として守り築いてきた宝の歴史に応える為にも、新しい世代が後継しつつ発展させねばと思っています。

さて、今年は、オール日大山口県、島根県からも多くの来賓を迎え、「みんなが主役」をテーマに、役員は元より若手メンバーも運営役員に加わってもらいました。参加者も会員に呼びかけた事もあって、昨年の2倍近い30名が集い、にぎやかな開催となりました。

内容的には、総会の規定通り、物故者の黙祷、支部長挨拶、来賓の挨拶、①平成23年度事業報告及び決算報告、②会計監査、③平成24年度事業計画及び予算案について審議し、原案通り承認されました。

さらに、新入会員の紹介。2部では、親睦を兼ねたアトラクションや参加者の近況報告を行いました。最後まで盛り上がった素晴らしい総会となりました。

圧巻だったのは、参加者全員による近況報告でした。

一人ひとりが、胸を張り堂々と「私は人生を勝利して来ました」と言わんばかりの発表でした。これには会場一杯、割れんばかりの拍手喝采で盛り上がりました。

中には「我々の時は、上司に気兼ねして、夜行列車に乗って、旅館も大勢で雑魚寝、寒さを凌いで、明日を夢見て頑張ってきた」。「通信時代はレポート提出の期限に間に合わず朝方まで勉強しました」。「日大のお陰で今日の私があります。この体験と感謝を忘れず校友会活動に頑張ります」等々。どれも重みのある言葉にみんな感慨を深めました。

一人ひとりは、県、市役所の職員、行政書士、JR職員、高校教諭、家庭と大事な部署で日大魂を胸に頑張っておられます。

東日本大震災から1年余りが過ぎました。東北では私たち校友会の仲間や、親戚、関係者の多くが被災されておられます。「今、大事なのは絆を強くする事」と思います。それだけに、校友会の一人ひとりが絆を強くし、共に支えあう社会を感じて立ち上がる事が、日大校友会の歴史と伝統をさらに発展させる事に繋がるのではないかと決意しております。

（文責　支部長　谷川正徳）

第41回 日本大学通信教育部校友会
広島県支部総会

宮崎県支部総会

平成24年度宮崎県支部総会を12月16日（日）13時より宮崎日本大学高等学校会議室において、校友6名の出席を得て開催した。

総会の司会進行は、幹事長の中山清信氏が担当した。まず、物故者（殊に5月にご逝去された故青木義春支部長）に対し黙とうをささげ、青木健三支部長代理のあいさつ、出席者の紹介後、支部長代理を議長に選出し、議事に入った。

①平成23年度事業報告・決算報告及び監査報告
②役員改選
③平成24年度事業計画及び予算案について、それぞれ審議し、全異議なく承認された。その他に報告事項として、1月26日に予定されているオール日大校友会総会について、説明があった。

今回は、青木前支部長のご逝去により、役員改選がおこなわれ、これまで会計を担当していた久米田義夫氏が新支部長に選出された。新支部長を中心とした新体制の今後の活躍を願いながら、来年も再会することを約束しながら、名残惜しみながら散会した。

（文責　新幹事長　大野安則）

富山県支部新年会

平成25年2月16日（土）富山市内の美喜鮨本店に於いて、午後五時より開催。

出席者
支部　九名
来賓　一名

司会は、事務局次長水木郁夫氏が務め、新年会次第により進行した。

新年会
一、開会の辞　吉岡　一治
二、校歌斉唱　横嶋　功
三、支部長挨拶
四、来賓挨拶　岡田伊知夫
五、出席者自己紹介
六、その他

館支部長より、三役会の報告、本年度本部定期総会が5月25日（土）桜門会館にて行われる旨の報告があった。

七、閉会の辞　下澤　達恵
八、記念撮影

懇親会
一、開会挨拶　里見　良治
二、乾杯　岡田伊知夫
三、日大節　森田　孝一
四、万歳三唱　太田　武志
五、閉会挨拶　水本　郁夫

懇親会では、参加者相互の親睦を深めて、校友会本部の定期総会への参加依頼と夏に恒例の富山県支部総会での再会を約して散会しました。

（文責　支部長　館　聖）

香川県支部総会

平成25年度香川県支部総会は、5月12日（日）JR高松駅近くの高松センチュリーホテル1階において7名の出席を得て開催しました。

総会では、開会の辞の後、高橋支部長から、総会が開催されたことは大きな喜びと希望を与えてくれるものです。また、今春1名の卒業生があり校友会への加入を促しているところですので、皆様のご協力をお願いしたい旨の挨拶がありました。

続いて議題に入り、24年度行事と同年度収支決算報告、併せて監査報告が行われ了承されました。次に、平成25年度行事計画（案）と予算（案）が提案され、原案通り承認されました。その他としては、新会員の加入促進は直接ご本人に会って呼びかけを行うことや四国ブロック会に出席する者には従前と同額の補助をすることなどを申し合わせました。

総会終了後は、記念写真撮影するとともに昼食懇親会を行い、昔なつかしい出来事や今の世相など色々と話し合い楽しい一時を過し、お互いの絆をより強くして8月上旬の再会を約して散会しました。

（文責　支部長　高橋治子）

福岡県支部総会

平成25年4月20日（土）福岡市天神（福新楼）にて、午前11時30分より開催。

出席者　5名

進行は支部幹事長　中村健が務め総会次第により進行した。

宗像支部長不在で幹事長が代行して進行した。

平成24年度事業報告
平成24年度決算報告
平成25年度事業計画案及び予算案の審議
平成25年度役員の選出

支部長代行に馬目浩太郎君を選出、体制を整えるまで幹事長留任、若がえりの役員人事を年内に検討する。

記念撮影に移り昼食会

支部として年1回の総会の開催、年2回の校友会報の配布で、450名を超える校友の内270名との連絡が出来、支部名簿の修正、校友の近況報告もあり、（つづり）にして配布、喜ばれています。年々高齢化が進みますが継続して行きたいと思います。

（文責　幹事長　中村　健）